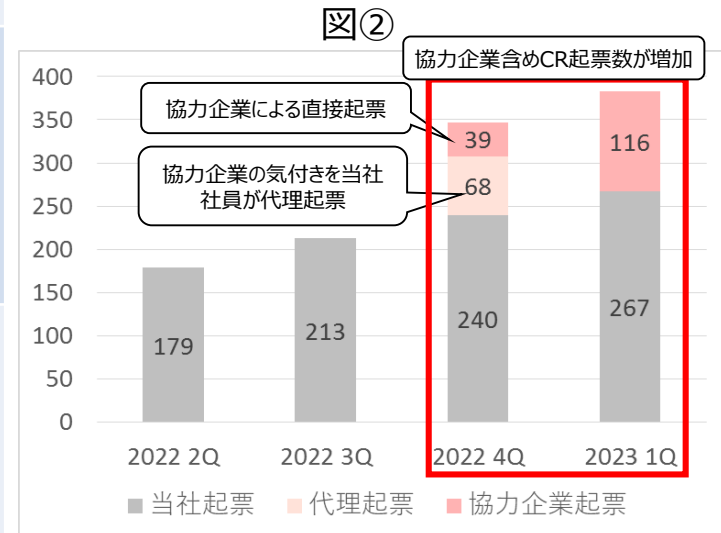
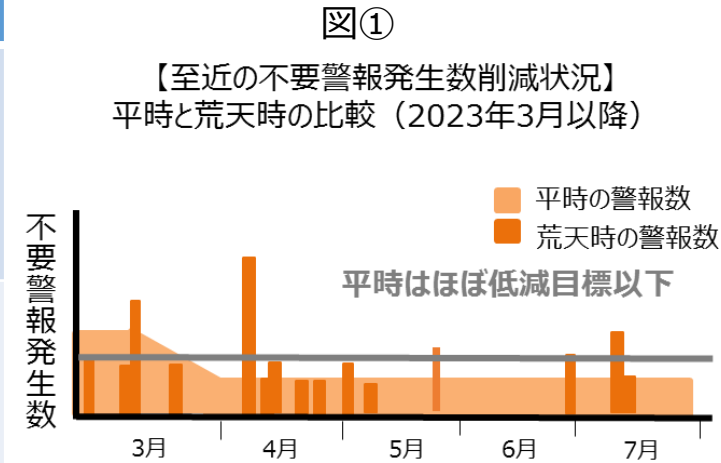


1. 4つの課題の進捗状況について

- 不要警報対策：「荒天時の監視体制」を構築し、実動訓練を実施中。訓練実績を踏まえて、有効性評価を実施
- その他3項目：仕組みを構築済みであり、更なる改善を進めながら有効性評価を実施中

課題	取組の進捗状況
1. 正常な監視の実現	<ul style="list-style-type: none"> 不要警報が多いセンサについて、個別の原因特定・対策を行う仕組みにより低減目標の達成を概ね継続（右図①） 荒天時における監視強化体制を構築して実動訓練を実施中。訓練実績を踏まえて体制の有効性を評価するとともに、訓練を継続的に実施して改善（詳細は次スライド）
2. 実効あるPPCAPの実現	<ul style="list-style-type: none"> CR簡便起票ツールの整備やCR起票に関する啓発活動を通じてCR起票数が増加（右図②） 議論活発化のための教育や会議運営の見直しを実施 上記継続性、標準化等について有効性評価を実施中
3. 改善された変更管理の運用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 問題点を指摘いただいた「変更管理案件：15件」についてCRを起票の上で不適合処置を完了済 同問題点を踏まえて変更管理マニュアルを改訂した上で適切な変更管理の運用を実施中 上記変更管理の運用状況について有効性評価を実施中
4. 実効性のある行動観察を通じた一過性のものとしにくい取組の実践	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング室を設置し、所員及び協力企業社員の行動や振舞いの観察を継続して実施中 行動観察等を通じて把握した状況や気付き事項について社長報告を行い、社長指示を踏まえた改善を実施中 改善措置評価委員会への適宜報告と、指導・助言等をもとに改善を実施中 上記自律的な改善の取組について有効性評価を実施中



2. 不要警報対策に係る荒天時の実動訓練について

- 目的：強風・大雪等の荒天時の警報多発時に備え、監視体制を整え、正常な監視を行えることを確認
- 実施日：7月27日（木）に全体訓練を実施済
7月21日、25日に防護直員への要素訓練※を実施済
（7月中に防護直全員が訓練を実施予定）
- 天候条件：至近で最も警報が多かった年初の大雪の日を想定（積雪30～40cm）

※要素訓練：防護直の実際の対応（要素）についての訓練

<事務所での訓練の様子>

- 7月27日の全体訓練概要（のべ182名が参加）
 - 天候状況を踏まえた監視要員や除雪要員等の招集判断
 - 防護直による不要警報か否かの判断、判断に基づく監視要員への指示（要素訓練）
 - 監視要員による対応や引き継ぎ、防護直への報告

